

# 行政視察報告書

議会運営委員会行政視察		平成30年10月9日(火)～10日(水)	
視察先 及び 視察事項	・平成30年10月9日(火) 埼玉県所沢市議会	1 議会報告会について(実施状況、課題とその対策)	
		2 ワールドカフェ「みみ丸カフェ」について(実施状況、課題とその対策)	
		3 議会評価について(実施状況、課題とその対策)	
		4 専門的知見の活用について(実施状況、課題とその対策)	
		5 議会施設について(議場・委員会室・会派控室など諸室及び設備等の視察含)	
	・平成30年10月10日(水) 埼玉県新座市議会	1 新庁舎議会施設について(議会施設の視察含)	
		(1) 施設の計画、設計に当たっての市議会の関わり方(要望等)	
		(2) 施設整備の基本方針・設計方針	
		(3) 各施設(諸室)の概要(面積・設備等内容)	
	<b>1. 所沢市議会</b>		
	(1) 議会報告会は議長を除く32名の議員が4班に分かれて、各班が年1回担当し実施している。参加人数は当初と比べ半減しており、参加者数増の対策が求められる。土曜の昼間開催も実施しているが参加人数にはつながっていない。開催告知としてティッシュ配りや直前街宣活動も行っているが効果については不透明。		
	(2) みみ丸カフェは議会広聴機能強化の一環として、20代～50代の市民に対し無作為抽出で参加案内を送り議会との意見交換を行うというもの。800名に案内状を送付、9名が参加ということで市民の関心があまりない状況が見て取れる。7月の開催では大学教授をファシリテータにむかえ、一般市民9名に加え、参加要請した高校生14名、短大生10名、大学生14名の計47名と議員10名が10テーブルに分かれてざっくばらんな雰囲気の中で、「市の魅力や自慢できるものは何か」「市にあるものを生かしさらに魅力を高めるにはどうしたらいいか」について語り合うというもので、議員をより身近に感じてもらうということも目的の一つとなっている。検討してもよいのではないか。		

(3) 議会評価は議会の様々な取組みについて、議会運営委員長及び広報広聴委員長がそれぞれ所管の事業について自己評価を行うというもの。議会が自らを顧みると  
という作業は必要であるが、報告者2名の負荷が重いことへの対応策が必要。

(4) 専門的知見の活用について、請願の際の意見陳述以外にも条例案や個別事業等  
についても意見を聞くということを行っている。この点は本議会としても参考とす  
べき。

(5) 議会施設についてはやはり会派控室の機能充実が必要。個人デスク、パソコン  
は必須と考える。また、市民来訪時の設備（応接セット）も必要。

## 2. 新座市議会

(1) 議会施設について、工夫がされていると感じた。傍聴席と議員席の高低差を少  
なくしていること、電子投票システムの導入、議会フロアのWi-Fi整備、難聴傾  
向の傍聴者への対応としての設備整備、市民相談室の設置等、議会からの要望事項  
が反映されている。また、議員室のセキュリティー確保については重要と考える。

「議員控室」→「議員室」へと名称変更したことは、現在の実態に合わせた措置と  
言える。本議会としても行うべきと考える。

(2) 施設整備の方針、設計方針については現在から将来を見通したものとして評価  
できる。・利用しやすく親しみやすい快適な庁舎 ・環境にやさしい庁舎 ・安全  
安心な庁舎 ・連帯と協働によるまちづくりを支える庁舎 ・効率的で経済的な庁  
舎、これらはよく理解できる。

(3) 各施設の概要は議会事務局、正副議長室、第1委員会室、第2委員会室、第3  
委員会室、全員協議会室、議員室となっており機能的な配置と思う。

平成30年11月20日

松本市議会議長 上條 俊道 様

議会運営委員会委員 近藤晴彦